



先生、教えて! ③2

あきらめないで! 脚に 浮き出た静脈瘤は治せます

あなたはひざ裏の血管、気になっていませんか?
青く浮き出た、その正体は下肢静脈瘤。多くは、
すぐに歩ける日帰り手術できれいに治ります。

イラスト/谷口シロウ 取材・文/深津チツ子



お話をうかがったのは
阿保義久先生

北青山ロクリニック院長。外科医としての豊富なスキルを背景に最新の日帰り手術に力を注ぐ。下肢静脈瘤やそ径ヘルニアの日帰り手術数は、年間200例以上を数える。

Q 脚に浮き出た血管は
老化現象?
なぜ、こうなるの?!

A 静脈血の逆流が原因。
女性は妊娠がきっかけに

下肢静脈瘤は30代以上の女性の10〜30%に見られる、ポピュラーな血管の病気。血管の色が目立つ程度の人から、太く浮き出たり、こぶのようにポコポコと隆起している人まで、その状態はさまざまですが、いずれも命にかかわるものではなく、脚の静脈血が逆流した結果現れる症状です。心臓に戻る血液が流れる脚の静脈は、引力に逆らい血液を押し上げなければなりません。その役割を担うのは筋肉。サポート役として静脈には弁が付き、要所要所で血液の逆流をくい止めているのです。ところが、何らかの理由で弁が壊れると、血液は逆流して下の方に停滞気味に。静脈内の圧が高まって血管が拡張し、浮き上がったように見えるわけです。弁が壊れやすいのは、筋肉の内側にある太い静脈と、皮膚に沿って走る細い静脈が合流するひざ裏や脚のつけ根。下肢静脈瘤はほとんど、ここに見られます。立ち仕事や女性では妊娠をきっかけに発生しやすい、遺伝的傾向も無症状のことが多いため、見た目の悪さを気にかけながら、体質や年だからとあきらめる人が多いようです。しかし、むくみ、だるさ、かゆみ、こむら返りなどが現れたり、進行すると、湿疹や治りの悪い皮膚潰瘍になることも。また、エコノミークラス症候群につながる深部静脈瘤のサインとして、下肢静脈瘤が起きているケースもあるため、ちゅうちょせず、専門医に相談するといでしょう。受診は血管外科を。

Q 治療しないと
治らないのですか?
薬で治すことは可能?

A 治療には手術が必要。
日帰りOKの方法も

下肢静脈瘤が自然に治ることはありません。ほとんどの方が年齢と共に進行させ、徐々に目立つようになります。残念ながら治療薬は立派ですが、治すには手術が必要になってきます。

現在の主流は、「ストリッピング」と呼ばれる方法で、逆流を起している静脈を引き抜く手術になります。局所麻酔後の付け根とひざの裏を切開して器具を挿入、血管を除去しますが、最近では、麻酔の工夫により、日帰り手術も可能に。術後は、歩いて帰宅でき、すぐに日常生活に戻れます。静脈を取ると聞くと、その後が心配になり



ますが、血液はほかの静脈を通るようになるので問題はなく、同一か所での再発もありません。さらに、体への負担が少なく手術痕も小さい、レーザーを用いた手術が徐々に導入され始め、注目されています。下肢静脈瘤を防ぐには、日ごろから弾性ストッキングなどで適度に脚を圧迫したり、ポンプ機能を養えさせたいよう、脚の筋肉を鍛錬したりするといでしょう。

ドクターに聞きたいこと大募集

このコーナーでは、読者の皆さんが聞きたい体の悩みや、医療に関する素朴な疑問にドクターが答えてくれます。健康に関する悩みや質問を官製ハガキや封書で以下のあて先までお寄せください。ただし、すべての質問にはお答えできません。また、お電話での問い合わせにはお答えできません。ご了承ください。

〒141-8885
東京都品川区西五反田1-30-1
ウイン五反田ビル4F
学研「ページル」編集部
「ドクター、教えて!」係